故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
本体LEDが点灯しない	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。
	電源線を間違って負荷端子または調光信号端子に接続している。	本器が壊れている可能性があります。電源を切って確認してください。
	負荷線が短絡している。	本器が壊れている可能性があります。電源を切って確認してください。
LEDが調光できない	調光モードに設定されていない。	LED調光モードに設定してください。(取扱説明書 負荷の設定について P.10参照)
LEDがちらつく	白熱灯調光モードに設定されている。	LED調光モードに設定してください。(取扱説明書 負荷の設定について P.10参照)
	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。(適合負荷 P.S5参照)
白熱灯が調光できない	調光モードに設定されていない。	白熱灯調光モードに設定してください。(取扱説明書 負荷の設定について P.10参照)
白熱灯が暗くならない	LED調光モードに設定されている。	白熱灯調光モードに設定してください。(取扱説明書 負荷の設定について P.10参照)
蛍光灯が調光できない	調光可能な器具が接続されていない。	調光可能な器具に交換してください。(適合負荷 P.S5参照)
	蛍光灯調光モードに設定されていない。	蛍光灯調光(PWM)モードに設定してください。(取扱説明書 負荷の設定について P.10参照)
	調光信号線がつながれていない。	調光信号線を見直してください。
	1･2回路に接続されている。	3･4回路に接続してください。(結線図 P.S6参照)
蛍光灯がちらつく	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。(適合負荷 P.S5参照)
あかりがちらつく	電源が単相3線の場合で消費電力が1kW以上の機器がある。	その機器とは電源の相を分けてください。
子器と同期しない	エリア設定・チャンネル設定が正しく設定されていない。	親器・子器のエリア設定を確認してください。(同一エリアの機器が連動します)
	ターミネータスイッチが正しく設定されていない。	親器と最終機器の『ターミネータスイッチ』のみをONに設定してください。（ターミネータの設定について P.S10参照)
	伝送信号が正しく接続されていない。	伝送信号接続を確認してください。（各子器取扱説明書 伝送信号結線図 P.3参照)

商品についてのご相談　株式会社ファースト・デザイン・システム
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-26 立花新宿ビル3F
TEL : (03)5339-3070

施工説明書

保存用

品　番	FMD-0408

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

工事店様へ
- ●施工前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

⚠ 警告
取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

- 厳守：本器は壁埋込専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。異常発熱･火災･落下の原因となります。
  床面　天井　傾斜壁面　補強のない壁
- 厳守：本器本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災･感電･落下の原因となります。
- 禁止：断熱材を本器に直接かぶせた施工はしないでください。火災･感電の原因になります。断熱材を使用する場合は必ず金属ボックスを使用してください。
- 禁止：周囲温度5～35℃、湿度40～85%の環境以外では使用しないでください。火災の原因となります。
- 禁止：本器の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災･感電･落下の原因となります。
  ストーブ
- 禁止：本器にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災･感電･落下の原因となります。
- 禁止：屋内配線の電源･ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かくが、造営材･ダクトに直接触れないように施工してください。施工に不備があると、火災･感電の原因となります。
- 禁止：適合負荷切替えは負荷に合わせて、正しく設定してください。火災･感電の原因となります。
- 厳守：本説明書にしたがい確実に行ってください。火災･感電の原因となります。
- 分解禁止：器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災･感電･落下･転倒等の原因となります。
- 厳守：電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災･感電の原因となります。
- 厳守：適合負荷を最大負荷容量または最大接続台数以下で使用してください。火災の原因となります。
- 厳守：本説明書に記載された電線を使用し、被覆は本体裏ストリップゲージにあわせてむき、電源穴に奥まで差し込んでください。指定外電線の使用や不充分な結線および電線の先が曲がっている場合は、異常発熱、火災の原因となります。
- 厳守：お手入れの際は、必ず壁スイッチもしくはブレーカーを切ってから作業してください。シーンコントローラーのON/OFFボタンで消灯状態にしても電源は切れないため、感電の原因となります。
- 厳守：煙･臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災･感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社までご相談ください。
  電器店　ご相談ください

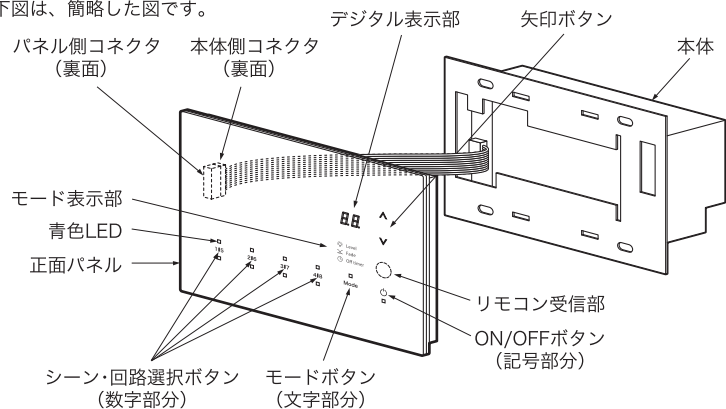
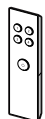
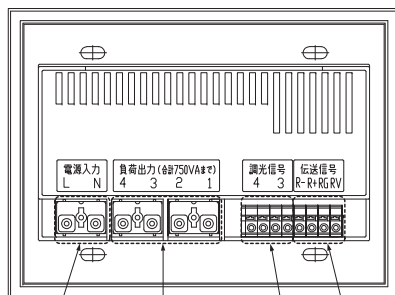
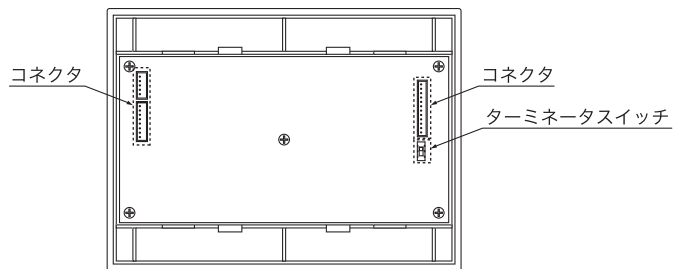
⚠ 注意
取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

- 厳守：電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- 注意：照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。点検は、本説明書に従ってお願いします。(3～5年に1度は有資格者の点検をおすすめします。)

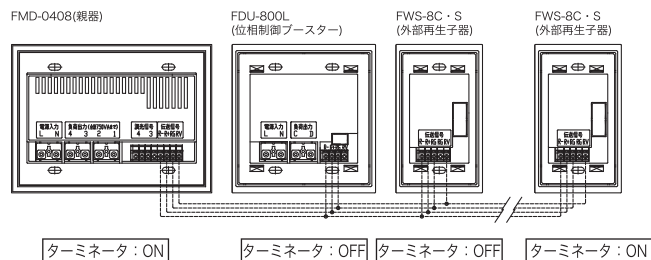
株式会社ファースト・デザイン・システム

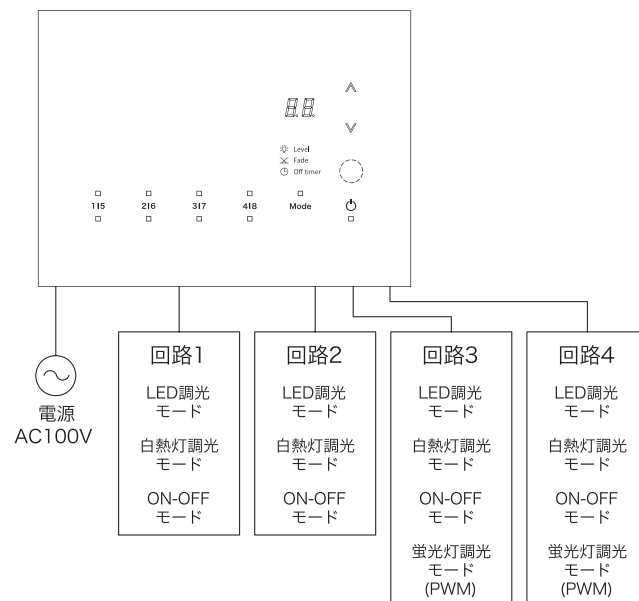
目次

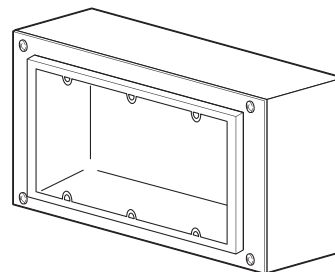
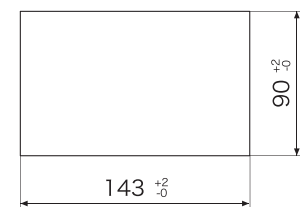
各部の名称

※下図は、簡略した図です。

〈本体裏面〉

ターミネータの設定について

<フロントパネル背面>

❶ ターミネータを設定する

伝送信号により複数の機器を接続する場合は、親器と最終接続機器のターミネータスイッチを『ON』に設定してください。
※出荷時は『ON』に設定されています。
※中間接続機器のターミネータスイッチを『ON』にすると正常な通信が行われません。

例：FMD-0408(シーンコントローラー親器)×1台、FDU-800L(位相制御ブースター)×1台、
FDS-8C・S(外部再生子器)×2台を接続する場合

システム図

施工前の確認

●本器の取付けにはスイッチボックス(市販品)を使用してください。
※浅形、樹脂製などのスイッチボックスは使用できません。

3個用金属スイッチボックス深形
(カバー付 JISC8340)

施工について

●負荷出力は決して短絡させないでください。本器が破壊します。

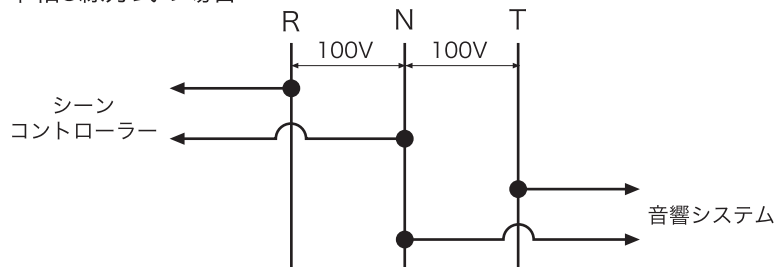
●電源線、負荷線、信号線を間違えないようにしてください。
本器、照明器具が故障する可能性があります。

●本器は単相100V専用です。

●本器には雑音防止装置が内蔵してありますが、ラジオや音響システムに雑音障害を及ぼす場合がありますので、下記の対策を実施してください。

※シーンコントローラーと音響システムは別の電源にしてください。又は電源を別相にしてください。

※シーンコントローラーと音響システムやアンテナ、配線、アース線とは1m以上離してください。

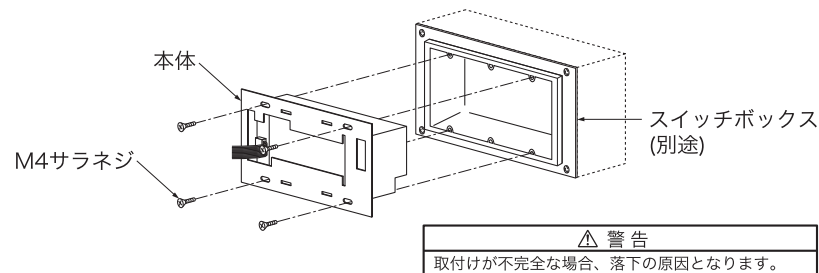
※音響システムはアースを確実にとってください。

●電源が単相3線式の場合で、消費電力が1kw以上の機器がある場合は、その機器とは電源を別相にしてください。
電源波形にひずみが生じ照明がちらつく場合があります。

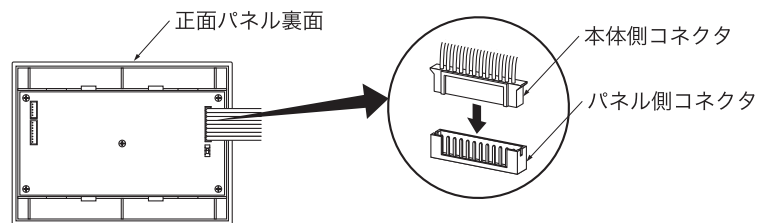
施工手順(3/3)

5 本体を取付ける

●本体をスイッチボックスに合わせて、M4サラネジ(4本)で確実に取付けてください。

※スイッチボックスは器具には付属していません。別途ご用意ください。

⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

6 コネクタを取付ける

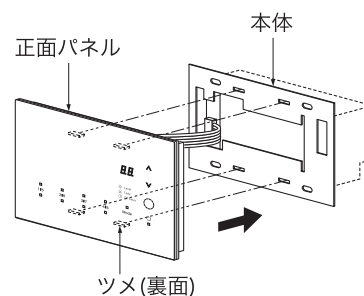
●正面パネル裏面のパネル側コネクタに本体側コネクタを確実に取付けてください。

⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、焼損･不点･接触不良の原因となります。

7 正面パネルを取付ける

●正面パネルのツメを本体に合わせて、確実に取付けてください。

※正面パネルを取付ける際に、本体と正面パネルをつなぐ線を挟まないように注意してください。

⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

施工手順(2/3)

③ 電源線・負荷線を接続する

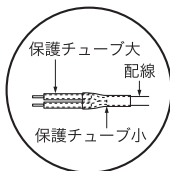
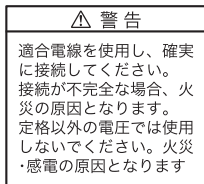
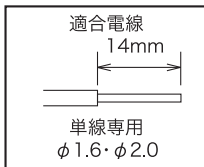
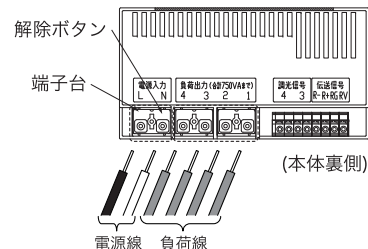
●適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。

●端子台に奥まで確実に差し込んでください。

〈結線の際のご注意〉

※本器はニュートラル線が必要です。必ずニュートラル線を電源線のN側に接続してください。
※照明器具からのニュートラル線は外部で接続する必要があります。接続にはジョイントボックスを使用してください。(金属ボックス内で接続することはできません。)
※ニュートラル線は1ヶ所でまとめて接続してください。外来ノイズによるチラツキの原因となります。
※必ず付属の保護チューブセットで保護し、結線してください。

⚠ 警告

適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります

〈電源線・負荷線を取外す場合〉

●必ず電源を切ってから作業してください。

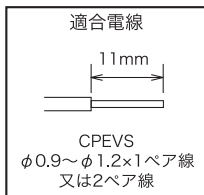
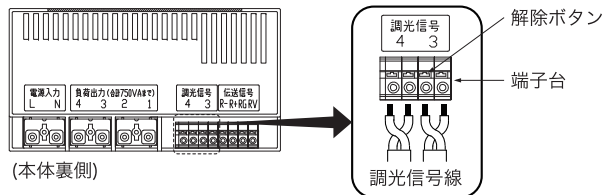
●ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線・負荷線を引き抜いてください。

④ 調光信号線を接続する

〈PWM 調光器具(Hf蛍光灯、シームレスランプ等)を使用する場合〉

●適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。

●端子台に奥まで確実に差し込んでください。

※調光信号に極性はありません。
※伝送信号の接続に関しては各増設機器の説明書に従ってください。

〈調光信号線を取外す場合〉

●必ず電源を切ってから作業してください。

●ドライバー等で解除ボタンを押しながら、調光信号線を引き抜いてください。

適合負荷

●接続する負荷によって負荷設定をする必要があります。

断熱施工なし

ランプ種類		1回路あたりの負荷容量	点灯モード
LED	LED器具(調光タイプ)	300VA	LED調光・ON/OFF
LED	LED器具(非調光タイプ)	300VA (2台以上でご使用ください)	ON−OFF
LED	DECO-L(調光タイプ)ランプ	4灯以上～300VA	LED調光・ON/OFF
LED	DECO-Sランプ	4灯以上～300VA	ON−OFF
LED	LED電球 DECO-Eランプ	10灯まで	ON−OFF
ハロゲン	白熱灯	300VA	白熱灯調光・ON/OFF
ハロゲン	器具内蔵電子トランス(調光タイプ)	300VA	白熱灯調光・ON/OFF
ハロゲン	別置電子トランス(調光タイプ)		
蛍光灯	蛍光灯器具	300VA	ON−OFF
蛍光灯	Hf調光・シームレス調光 (PWM調光タイプ)	300VA (但し器具台数8台まで)	蛍光灯調光(PWM)
蛍光灯	パルックボール	10灯まで	ON−OFF
4回路合計最大負荷容量：750VA			

断熱施工あり

ランプ種類		1回路あたりの負荷容量	点灯モード
LED	LED器具(調光タイプ)	200VA	LED調光・ON/OFF
LED	LED器具(非調光タイプ)	200VA (2台以上でご使用ください)	ON−OFF
LED	DECO-L(調光タイプ)ランプ	4灯以上～200VA	LED調光・ON/OFF
LED	DECO-Sランプ	4灯以上～200VA	ON−OFF
LED	LED電球 DECO-Eランプ	6灯まで	ON−OFF
ハロゲン	白熱灯	200W	白熱灯調光・ON/OFF
ハロゲン	器具内蔵電子トランス(調光タイプ)	200W	白熱灯調光・ON/OFF
ハロゲン	別置電子トランス(調光タイプ)		
蛍光灯	蛍光灯器具	200VA	ON−OFF
蛍光灯	Hf調光・シームレス調光 (PWM調光タイプ)	200VA (但し器具台数4台まで)	蛍光灯調光(PWM)
蛍光灯	パルックボール	6灯まで	ON−OFF
4回路合計最大接続負荷：400VA			

●リモコン照明器具、センサー機能付照明器具、調光機能付照明器具、FANは接続できません。

●1回路には必ず同じ負荷を接続してください。

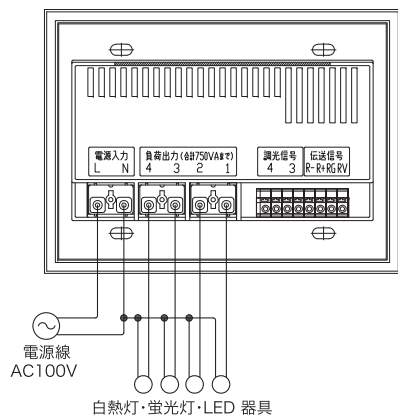
●ご希望の照明器具とのマッチングテストを行わせていただきますので、随時お問い合わせください。

結線図

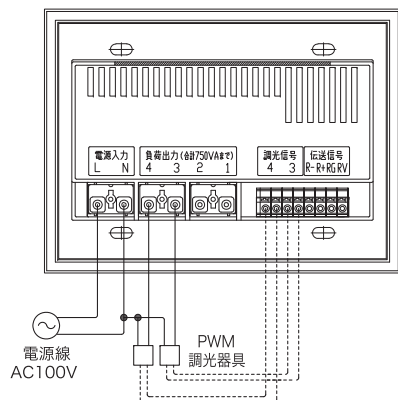
❶ LED調光の場合・・・・・LED調光

❷ 白熱灯調光の場合・・・・白熱灯調光

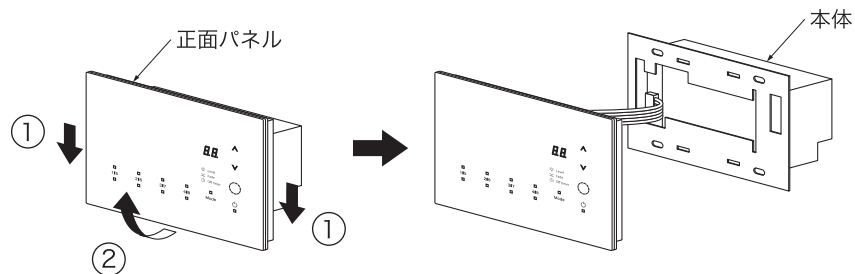
❸ ON-OFFの場合・・・・・LED、白熱灯、蛍光灯

●電源及び負荷出力線にはφ1.6又はφ2.0の銅単線を使用してください。

❹ 蛍光灯調光(PWM)の場合・・・・蛍光灯(Hf調光、シームレス調光)

●電源及び負荷出力線にはφ1.6又はφ2.0の銅単線を使用してください。

●調光信号線にはCPEVSφ0.9〜φ1.2×1ペア線又は2ペア線を使用してください。

施工手順(1/3)

❶ 正面パネルを取外す

●正面パネルを少し押し下げ、正面パネルの下部を手前に引っ張り、本体から正面パネルを取外してください。

❷ コネクタを取外す

●正面パネル裏面のパネル側コネクタから本体側コネクタを取外してください。